

一橋大学イノベーション研究センター／
科学技術・学術政策研究所共催ミニ国際ワークショップ
「サイエンスを基盤とするイノベーション」

○ ワークショップの目的:

本ワークショップでは、サイエンスを基盤とするイノベーションの過程、およびサイエンスとイノベーションのシナジーを促進する政策について発表・討論を行います。ミラノ工科大学よりマッシモ・コロombo教授(イノベーションの経済学専攻)をお招きし、新しい企業の誕生・発展の促進に大学が果たす役割をテーマに基調講演を行っていただきます。また、「サイエンスにおける知識生産プロセス」および「産学連携研究」の研究プロジェクトの成果を発表いたします。

○ 言語：英語

○ プログラム:

開会の挨拶 榊原裕二 (文部科学省 科学技術・学術政策研究所長)

13:30 - 15:00 基調講演 “Science and radical innovation: the role of universities in local entrepreneurial systems” (講演1時間、質疑応答20分)

司会 原山優子(総合科学技術会議議員)

マッシモ・G・コロombo (ミラノ工科大学教授, Full Professor of Economics of Innovation, School of Management Deputy Director for Research, Politecnico di Milano
Department of Management, Economics and Industrial Engineering)

15:00 - 16:05 Knowledge Creation Process in Science: Evidence from scientists surveys

司会 ルネ・ベルダボス(ルーバン大学教授)

- (1) “Contributions of young scholars in team-based scientific research” (発表25分、質疑応答10分)

伊神正貫 (科学技術・学術政策研究所 科学技術・学術基盤調査研究室主任研究官)

- (2) “International collaborations in science, why and how: evidence from scientists’ survey in the US and Japan” (発表20分、質疑応答10分)

長岡貞男 (一橋大学イノベーション研究センター 教授)

16:05 - 16:25 休憩

16:25 - 17:30 University and Industry Collaborations: Evidence from the Research Projects Generating Co-inventions

司会 斎藤尚樹 (科学技術・学術政策研究所 総務研究官)

- (1) “Research outcome and impact of industry and university collaborations” (発表25分、質疑応答10分)

細野光章 (科学技術・学術政策研究所 第3調査研究グループ上席研究官)

- (2) “Funding mechanism of joint research” (発表20分、質疑応答10分)

赤池伸一 (一橋大学イノベーション研究センター 教授)

閉会の挨拶 長岡貞男 (一橋大学イノベーション研究センター 教授)

※ 「サイエンスにおける知識生産プロセス」および「産学連携研究」の研究プロジェクトは、科学研究費補助金基盤研究 S「イノベーション・プロセスに関する産学官連携研究(No. 20223002)」および科学研究費補助金基盤研究 A「サイエンスにおける知識生産プロセスとイノベーション創出の研究(No. 21243020)」の支援を受けました。